

ABLE 2014

Agents for Bridging Learning research and Educational practice

認知科学と教育実践をつなぐ

「熟達者の特徴と一流の熟達者になるための条件」

2014年11月29日(土) 10:30～17:30

内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS

サイエンスカフェ「生涯かけて熟達し続けるための探究的トレーニング」

2014年11月30日(日) 13:00～17:45

慶應義塾大学 三田キャンパス

トークセッション「将棋とチェスを通して考える、

一流の熟達者が実践する探究的トレーニング」

参加費

両日とも1,000円

お問合せ

ABLE運営事務局 able2014@keio.to

登壇者

Anders Ericsson (フロリダ州立大学教授)

羽生 善治 (プロ棋士)

小島 慎也 (プロチェスピレーヤー)

安西 祐一郎 (日本学術振興会理事長)

銅谷 賢治 (沖縄科学技術大学大学院教授)

Xiaohong Wan (北京師範大学教授)

加藤 貴昭 (慶應義塾大学準教授)

市川 力 (東京コミュニティスクール 探究コーディネータ)

今井 むつみ (慶應義塾大学教授)

参加ご希望の方は、事前登録をお願い致します！

プログラム、登録方法の詳細は以下からご覧ください。

<http://cogpsy.sfc.keio.ac.jp/able/>

Dr. K. Anders Ericsson プロフィール

熟達の認知の性質と熟達者に至る過程についての研究で世界をリードする。彼が提唱する超一流の熟達者になるためのdeliberate practice理論は世界のプロスポーツや芸術、ビジネスの場で大きな影響を与えている。

主 催：慶應義塾大学今井むつみ研究室、市川力(東京コミュニティスクール)

共 催：科研費新学術領域「予測と意思決定」

慶應義塾大学 先導研「論理と感性のグローバル研究センター」

特別協力：株式会社内田洋行 教育総合研究所

協 力：慶應義塾大学井庭崇研究室・加藤貴昭研究室